

博士前期課程（修士） / 実践看護学領域 / 女性看護学分野

科目コード：260004

## 女性看護学演習 I Seminar in Women's Health Nursing I

担当教員	吉田 和枝				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	演習
必修・選択	選択	時間数	45		
Keywords	文献検索、文献購読、概念、理論、看護モデル、健康行動理論、ヘルスプロモーション、ストレスコーピング、認知行動療法、自己効力感、自尊感情、エンパワメント、ソーシャルサポート、ピアグループ、ヘルスコミュニケーション、関連尺度				
学習目的・目標	文献を活用し、女性看護学そのほかの関連分野における概念や理論を理解する。エビデンスに基づく援助方法の再確認や新たな援助方法を見出すための研究の糸口を探索する。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1	オリエンテーション			オリエンテーション	吉田
2	女性看護学の意義・研究に対する基本的理解			講義	吉田
3	研究過程の概要			講義	吉田
4	文献検索の意義と文献整理方法等について			講義	吉田
5～15	概念・理論等について学生はプレゼンテーションを行い、概念、理論等を理解する。 例) セクシャリティ、ジェンダー、アイデンティティの再構成、健康教育、健康行動理論、ヘルスプロモーション、ストレスコーピング、認知行動療法、自己効力感、自尊感情、エンパワメント、ソーシャルサポート、ピアグループ、ヘルスコミュニケーション、関連指標、尺度についてなど			プレゼンテーション 討議	吉田
16～23	女性看護研究の紹介と検討 学生がもつ課題に関する文献検索による情報収集とプレゼンテーション、討議			プレゼンテーション 講義・討議	吉田
教科書	随時提示する				
参考図書等	随時提示する				
評価指標	出席状況と課題発表、討論への参加状況、レポート内容により総合的に評価する。				
関連科目	女性看護学特論Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ、看護研究、データ分析方法論				
教員から学生へのメッセージ	女性看護のケアの向上のための研究の基礎となる部分を学生が主体となって学習していきます。				